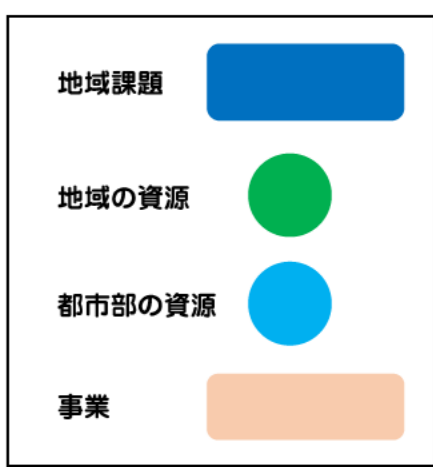


八尾市版マンドラ図



空き家が増えているが、活用がされていない。
 高安の生物多様性を伝えたいが十分な場の整備ができていない。
 間伐はしているが、材木として使えていない。



八尾のモノづくり企業を体感できる施設
 廃校水族館
 間伐材を活用した商品開発 例：ヒノキの消臭剤
 生態系サービスを活かした体験の開発

高安地域に都市部の住民が関わる(移住する)きっかけになる。関係人口が増える。

八尾・高安地域の生物多様性の情報発信が可能に。

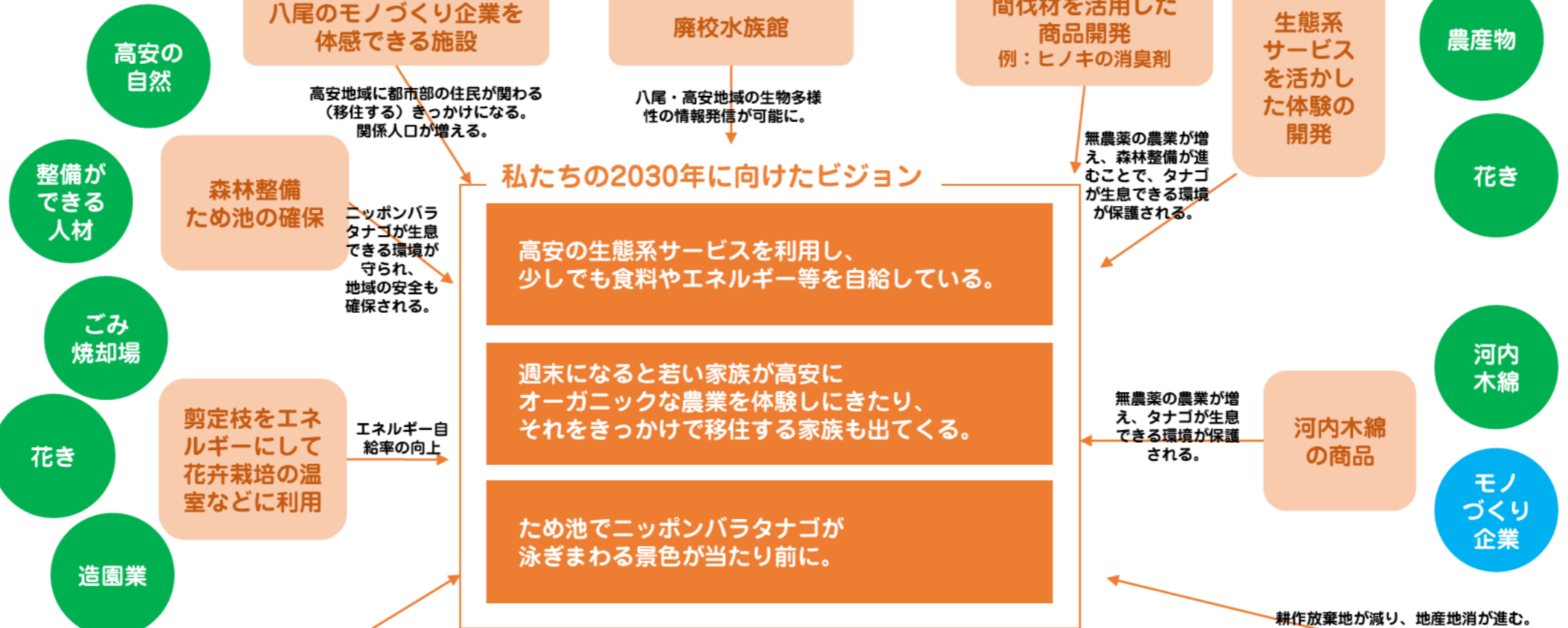
無農薬の農業が増え、森林整備が進むことで、タナゴが生息できる環境が保護される。

土砂災害のリスクが高い。

タナゴの保全のためには、無農薬の農家が増えて欲しい。

剪定枝の処理に困っている。

河内木綿を育てて、実際に商品にもしているが、まだ定期的に販売できる商品ではない。



地域の子どもたちを中心に、自分たちが暮らしている地域の魅力を伝えることで定住人口が増える。

都市部の住民が高安地域の自然を知り、関わるきっかけが作られる。関係人口が増える。

耕作放棄地が減り、地産地消が進む。オーガニックな農業が促進される。

耕作放棄地が減り、地産地消が進む。オーガニックな農業が促進される。関係人口が増える。

地域資源を学ぶ体験型授業

エコツアーの開催

マルシェの開催

地ビールの開発

無農薬・有機栽培の野菜の生産
野菜を使ったレストランの運営

地域の子どもたちに地域のよさが伝わっていない

高安地域は、駅から遠い場所が多く、移動が不便である。

高安地域の魅力を、都市部に伝えられていない。

高安地域で耕作放棄地が増えている。

タナゴの保全のためには、無農薬の農家が増えて欲しい。

